



2013年度 外報紙

2013年度スローガン

創造と挑戦 地域のリーダーとして一歩前へ
新たな自分、そして新たな南長野の為に

2013年度 役員・理事メンバー紹介

理事長	綿貫昌夫	(有)信州雪国科学
直前理事長	大平郁久男	(有)富士キャスト
外部監事	近藤秀樹氏	(有)藤屋モーターズ
監事	田村嘉邦	(有)丸二商会
副理事長	月津洋一	(株)長門屋
副理事長	松本章	(株)マツシン.
副理事長	久保田俊行	(有)KBT
副理事長	小山和伯	(有)嵯峨野小山商店
副理事長	水口英徹	(有)サクセス
専務理事	宮尾一暁	北信瓦工業(株)

国際交流委員会

委員長	小林俊之	(有)中村測量設計事務所
副委員長	池田直哉	企画制作 イズミドリ

南長野の幸せ創造委員会

委員長	宮崎弘章	(有)宮崎電気
副委員長	倉石卓也	(有)中村測量設計事務所 燎倶楽部 犀北
副委員長	渡邊英祐	渡辺商事(株)

南長野のたから育成委員会

委員長	酒井総一郎	(有)酒井製版
副委員長	東方竜也	カイテック

会員魅力発掘委員会

委員長	中村文陽	(有)南長野モーターショップ
副委員長	中島功雄	(株)中嶋製作所

総務広報委員会

委員長	金田隆一	(株)信州トラベルサービス
副委員長	高山博至	(有)高山タイヤ商会

事務局

事務局長	宮下嘉文	(株)長野野管材
事務局次長	高山博至	(有)高山タイヤ商会

2013年度新入会員

2013年度 南長野の幸せ創造委員会

河内恵美子 (会社名) TriAngels
●今年の目標 笑顔で!南長野に光を灯します!

2013年度 南長野の幸せ創造委員会

曾根川宏一 (会社名) (有)北成建設
●今年の目標 JCを深く知る。

2013年度 会員魅力発掘委員会

知野哲郎 (会社名) タゴトテキスタイル(株)
●今年の目標 仕事もJC活動も全力投球!

2013年度 南長野のたから育成委員会

鶴沢 裕 (会社名) 鶴沢会計事務所
●今年の目標 地域の方々のお役に立てるよう頑張ります。



左から綿貫理事長、鶴沢裕君、河内恵美子君、知野哲郎君

南長野青年会議所の二〇一三年度新年の門出を祝い、一月八日(火)にJCLルームにて恒例のルーム開きを開催しました。新年の船出に相応しく二〇一三年度理事長綿貫昌夫君の力強いご挨拶により、理事一同身を引き締め、新たな門出を祝いました。

達磨の目入れ式では、メンバー一人ひとりが今年一年の念いや決意を胸に達磨の目に墨を入れ、今年一年の祈願をいたしました。

(公社)南長野青年会議所の二〇一三年のスタートとなりました。今年一年よろしく願っています。



2013年度理事メンバー

ルーム開き
2013年度 綿貫丸 船出

1月8日(火) JCLルーム

1月30日(水) 信州健康村 ナイスインホテル村一番
第一回通常総会

担当 ■ 総務広報委員会



一月三〇日(水)に(公社)南長野青年会議所の第一回通常総会を信州健康村ナイスインホテル村一番で開催いたしました。

第一号議案の二〇一二年度事業報告から第三号議案の二〇一三年度の予算まで無事承認され、来賓各位ご参集のもと、二〇一三年度第四二代理事長・綿貫昌夫君の本年のスローガンに基づく力強く一歩前に出たご挨拶で本年度公益社団法人南長野青年会議所・綿貫丸が出港いたしました。

綿貫理事長が掲げる本年のスローガンは「創造と挑戦 地域のリーダーとして一歩前へ 新たな自分、そして新たな南長野の為に」。南長野青年会議所メンバー一人ひとりがこの地域のリーダーとなり一歩前に出る運動、活動を展開し、新しい自分を開拓していくことが、やがては南長野地域の為になる。その思いが込められ、二〇一三年度公益社団法人南長野青年会議所のスタートとなりました。



年会議所通常



1月例会

1月30日(水)

信州健康村
温泉棟2F大広間

新春大懇親会 2013

企画担当 ■ 国際交流委員会

公益社団法人南長野青年会議所 所第一回通常総会に続きまして、ご来賓の皆様方と共に新年の門出を祝い一月例会・新春大懇親会を信州健康村温泉棟2F大広間にて盛大に開催いたしました。

大懇親会より長野市長がご参加され、新年のご挨拶を頂戴し、長野商工会議所副会頭の嶋君忠様の乾杯の挨拶で新春大懇親会が開催されました。

また、綿貫理事長と二〇一三年度の各委員会の委員長達による今年の意気込みを漢字一文字で表し、それぞれの思いを来賓の皆様方にPRいたしました。最後に南長野青年会議所役員及びご来賓皆様で万歳三唱し、新年の大懇親会が無事閉会いたしました。



綿貫理事長「挑」



金田委員長「笑」



中村委員長「新」



酒井委員長「結」



宮崎委員長「感」



小林委員長「信」



委員長所感

小林 俊之

綿貫丸が出航して初の総会、そして例会を無事に終えることが出来ました。多数のご来賓、先輩方にお越しいただき、とても賑やかにそして楽しい新春大懇親会が行えたと思います。また、当日まで段取り頂いた委員メンバーそしてお手伝いいただいたメンバーに感謝です。私にとって初委員長、そして初例会ではありましたが、皆様の協力を得てスムーズに進行もできたと思います。最後に、ご無理をお願いした信州健康村さんにも感謝しつつ、これで綿貫理事長の下、一年間の南長野青年会議所がスタートできました。一歩前へ頑張ってくださいませ。

2月例会

2月18日(月)

篠ノ井商工会議所
篠ノ井支所2F

会員拡大へのモチベーションアップ

企画担当 ■ 会員魅力発掘委員会

二月一八日(月)に篠ノ井商工会議所篠ノ井支所2Fにおいて会員魅力発掘委員会主催の二月例会(会員拡大へのモチベーションアップ)を開催いたしました。

本例会は、(公社)長野青年会議所シニアの大洋丈先輩をお招きし、改めて青年会議所を行う会員拡大についてと会員拡大に向けたメンバー一人ひとりのモチベーションアップを目的に開催いたしました。



講師：大洋丈 先輩



大洋丈先輩の講話で、何のために会員拡大を行うのか、また、自分は何のために青年会議所に入会したのかなど、ご自身の体験を用いた内容は、今まで我々の知らなかったこと、改めて気づかされたことが多く、南長野青年会議所メンバーにとっては目から鱗の講話となりました。本年は、新年より五名の準会員(五月一日現在)の入会があり、この勢いに乗り大洋丈先輩の話を活かしてメンバー一人一人がモチベーションアップをスタートいたします。

委員長所感

中村 文陽

二月一八日、篠ノ井商工会議所篠ノ井支所2Fにて開催致しました。本年は「会員数六〇名」を目標に掲げ会員拡大を行ってまいります。そしてそのためには、なぜ私たちは会員拡大を行うのかを全会員が考え、会員拡大の必要性を理解してもらわなければならないと感じ、本例会を開催致しました。

例会では、長野J.Cのシニアでもあります、大洋丈先輩をお招きし、会員拡大についてご教授頂きました。この講演では、勧誘の方法論や手法ではなく、そもそもJ.Cとはどんな団体であるべきか、何の為に事業を行い、どんな事業を開催していくべきか、というJ.Cの基本的なことをメインにお話頂きました。そして、最初は表情の硬かったメンバーも、講演が終わるころには目つきが変わっていたのではないのでしょうか。本例会をもって、本格的に会員拡大がスタートしました。この例会が意味のあるものだったかどうかは、年末そして次年度以降のメンバーの姿勢に現れるのではないのでしょうか。



2013年度
会員魅力発掘委員会
委員長
中村 文陽

3月例会

未曾有の大災害 東日本大震災を改めて見つめなおす

3月20日(水)

JAGグリーンパレス3F

企画担当 ■ 総務広報委員会

三月二〇日(水)にJAGグリーンパレス3Fにて、総務広報委員会主催の三月例会「未曾有の大災害 東日本大震災を改めて見つめなおす」を開催いたしました。

前半は、実際に被災に遭われ、震災当時のお話や避難所生活、二ヶ月の月日が経過した今を(俳館)の浦宮澤利典様に語って頂き、後半は、俊英高校生徒会長、綿貫理事長を加えて三名によるパネルディスカッションを行いました。

語部宮澤様によるお話で、震災当日、津波によるご自宅の浸水状況、ご家族のかく高いところという事で押し入れの上段でまっくらの中避難させ、これ以上浸水したら逃げられないとい



【10代男性】復興は、建物、交通整備等を整える事だと思っていたが、それだけでなく「心のケア」というのも大切だと思った。

【40代男性】自分が出来る事は何かあるのか?だけでなく、これからの若い人達の考えやあり方を導いていく運動を続けて頂きたいと思いました。

【10代女性】お話を聞いて、改めてあたりまえに送れる生活がありがたいことだと思いました。

【50代男性】自然の力は恐ろしい、便利な社会に甘えない、情報に惑わされない。

【10代女性】今回参加できなかった生徒たちに自分が聞いたこと、思った事を伝えたい。

うギリギリの状況にまで追い込まれたというお話を聞いた時には聞いていた参加者の方まで鬼気迫る思いがよぎった事を思い出します。

更には震災後の半年間は感情がなくなっていたと聞いて、改めて被災していた者には想像を絶する大災害であったのだと感じました。

また、パネルディスカッションでは、語部宮澤様、俊英高校生徒会長、綿貫理事長御三方とも風化させないために、今回の震災を教訓として今後何が出来るのかを真剣にお話頂きました。

その念いが参加者にも伝わったのではないかと。アンケートには色々な感想、ご意見を頂きました。



今回の事業が、参加者にとって「東日本大震災を改めて見つめなおす」きっかけになった事を願ってやみません。

委員長所感

金田 隆一

総務広報委員会最初で最後の公開例会という事で三月二〇日(祝日)にも関わらず六〇名の方々に参加頂きました。当日の会場の雰囲気、アンケート用紙に記入頂いた内容を拝見すると、今例会のテーマ改めて見つめなおす良い機会になったのではないかと思います。思い返して見ると、今後の課題点等もありましたが、メンバー各位のご協力を頂き無事終える事が出来ました。ありがとうございました。



2013年度 総務広報委員会 委員長 金田 隆一

4月例会

ゲームで学ぶJIC

4月12日(金)

篠ノ井商工会議所 篠ノ井支所2F

企画担当 ■ 会員魅力発掘委員会

四月一二日(金)に篠ノ井商工会議所篠ノ井支所2Fにおいて会員魅力発掘委員会主催の四月例会「ゲームで学ぶJIC」を開催いたしました。

本例会に、(公社)日本青年会議所・JICプログラム実践委員会総括幹事であります田中有美子君(社)大阪青年会議所より(出向)をヘッドトレーナーとしてお招きし、(公社)日本青年会議所公認プログラムである「JICゲーム」を使って擬似的にJICライフを体験する事業となりました。

JICゲームとは、六人一組で行うカードゲームで、JICに入会するところがスタートとなり、様々なJIC活動や体験などが書かれているカードを引きながら理事長を目指すというシミュレーションゲームで各組二回行って、制限時間内に理事長が誕生した時点で終了するという内容の疑似体験事業となりました。



講師：田中有美子 君



委員長所感

中村 文陽

四月一二日、篠ノ井商工会議所篠ノ井支所2Fにて四月例会「ゲームで学ぶJIC」を開催致しました。

近年、当会議所は毎年多くの仲間を迎え入れてきましたが、それと同時に退会者や休会者、またいわゆるスリープしてしまうメンバーも多くなってきてしまいました。そして、その多くは入会歴の浅いJICをまだ良く理解していない方や、あまりJIC活動が出来なかった方ではないでしょうか。

もし、そんな方々がそうなる前に理事を経験していたら、出向していたら、そして周りももっとフォロー出来ていたら、結果は違っていたかもしれせん。

そこで、本例会は、日本JIC(大阪JICより出向)の田中有美子君をトレーナーにお迎えし、日本JIC公認プログラムである「JICゲーム」というカードゲームを使ってメンバーにJICライフをシミュレーションして頂きました。メンバー一人ひとりが「入会」から「理事長」を目指すこのゲームは、終始賑やかに笑い声も聞こえ、楽しい雰囲気の中で行われましたが、入会歴の浅いメンバーにはJICとして南長野JICという組織を理解して頂き、ベテランメンバーには、多くの「気づき」を得て頂けたのではないのでしょうか。そして、この体験を今後のJICライフに活かしていけるのではないのでしょうか。

最後に、唯一理事長になれた久保廣範君、おめでとうございました。



京都会議 2013

1月19日(土)～1月20日(日) 京都

一月十九日(土)と二十日(日)の二日間、毎年行われる全国の青年会議所が集う京都会議にて(公社)日本青年会議所会頭の所信表明を視聴するため京都に行って参りました。

会議場では、各種様々なフォーラムが開催され、それぞれ関連する分野のフォーラム、そしてメイソフフォーラムに参加いたしました。その後、空き時間を利用して京都の町を見学しました。

二〇日は(公社)日本青年会議所の会頭小畑宏介君の所信演説が開かれ、全国の青年会議所会員が会頭の所信に耳を傾けました。

二日間のスケジュールでしたが、(公社)南長野青年会議所として実り多い二〇一三年度の京都会議となりました。



長野灯明まつり 「表参道宵まつり」

2月16日(土) 長野市善光寺表参道

役員対応

二月一六(土)午後六時から九時の間、長野灯明祭り「表参道宵まつり」に長野灯明祭り一〇周年記念及び長野オリンピック一五周年の記念として行われたイベントに(公社)南長野青年会議所地元の特産品を使ったトン汁の振る舞いブースを出店いたしました。

出店にご協力いただきました「篠ノ井なでしこ隊」の皆様による



トン汁振る舞いブースは、水点下を下回る寒い日の暖かい出し物として灯明祭りに訪れた多くのお客様に足を止めていただき、約七〇〇杯分のトン汁がすべて時間前に終了するほどの盛況ぶりを見せました。

ご協力いただきました篠ノ井なでしこ隊の皆様寒い中ありがとうございました。

篠ノ井駅前通り オレンジ化計画

3月9日(土) 篠ノ井駅前通り

担当 南長野のたから育成委員会

三月九日(土)に篠ノ井駅前通りにて翌三月一〇日(日)のAC長野パルセイロの開幕戦に合わせて昨年引き続き篠ノ井駅前通りをオレンジ色に染めるべくAC長野パルセイロのフラッグの掲揚を行いました。

本年は昨年よりも早く掲揚することができ尚且つ、長い期間掲揚することが出来るということで地元の方にも関心を持ってもらい、地



2013年度 「外報紙かがり火」

編集長 金田 隆一

Age 40 (2013年度唯一の卒業生)

一步前へ

編集後記

二〇一三年度締結丸が出港してはや五カ月。一月のルーム開き、第一回通常総会から始まって気がつけばあっという間というものが南長野青年会議所メンバー一人ひとりの感想かと思えます。政権も交代し、アベノミクスなる造語も登場し、世の中の景気はよくなりつつある、というような言葉も耳にするようになりました。このまま景気回復、明るい豊かな社会、となつて欲しいものですが、

そんな中でも我々南長野青年会議所は、「創造と挑戦 地域のリーダーとして一步前へ」を新たな自分、そして新たな南長野の為に「を」をスローガンとして日々精進して参ります。先輩諸兄におかれましては、引き続きのご指導、そしてこのかがり火のご愛読をお願い申し上げます。

総務広報委員会 委員長 金田 隆一

会員募集!!

南長野青年会議所は、新しい仲間を募集しております!

今しか会えない仲間がいる。今しかできないことがある。

お問い合わせ先
(公社)南長野青年会議所事務局
☎026-292-2310



公益社団法人 南長野青年会議所

〒388-8007 長野県長野市篠ノ井布施高田895-1

TEL : 026-292-2310 FAX : 026-293-5709

E-mail : minaminaganojc@mtg.biglobe.ne.jp

発行元 : 総務広報委員会

編集長 : 金田 隆一

印刷所 : 有限会社サクセス

ホームページ更新中!
是非ご覧下さい!!

南長野青年会議所 検索

かがり火のバックナンバーはホームページでご覧ください。